

令和6年度 学校評価集計

(1) 学校評価の結果報告 (成果と今後の課題)

○ 本校全職員	P 1 ~ 3
○ グラフ	P 4
<hr/>	
○ 幼稚部職員	P 5 ~ 7
○ 幼稚部保護者	P 8
○ グラフ	P 9
<hr/>	
○ 小学部職員	P 10 ~ 12
○ 小学部保護者・小学部児童 (5年以上)	P 13 ~ 14
○ グラフ	P 15
<hr/>	
○ 中学部職員	P 16 ~ 18
○ 中学部保護者・中学部生徒	P 19 ~ 20
○ グラフ	P 21
<hr/>	
○ 高等部職員	P 22 ~ 24
○ 高等部保護者・高等部生徒	P 25 ~ 26
○ グラフ	P 27
<hr/>	
○ 分教室職員	P 28 ~ 30
○ 分教室保護者・児童・生徒	P 31 ~ 32
○ グラフ	P 33
<hr/>	
○ 寄宿舍	P 34 ~ 35
○ グラフ	P 36
<hr/>	
○ 事務室	P 37
○ グラフ	P 38
<hr/>	

(2) 実施期間

令和6年11月22日 (金) ~ 12月 6日 (金)

対象：教職員、児童生徒 (小学部5年以上)、保護者

令和6年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(本校・分教室全)

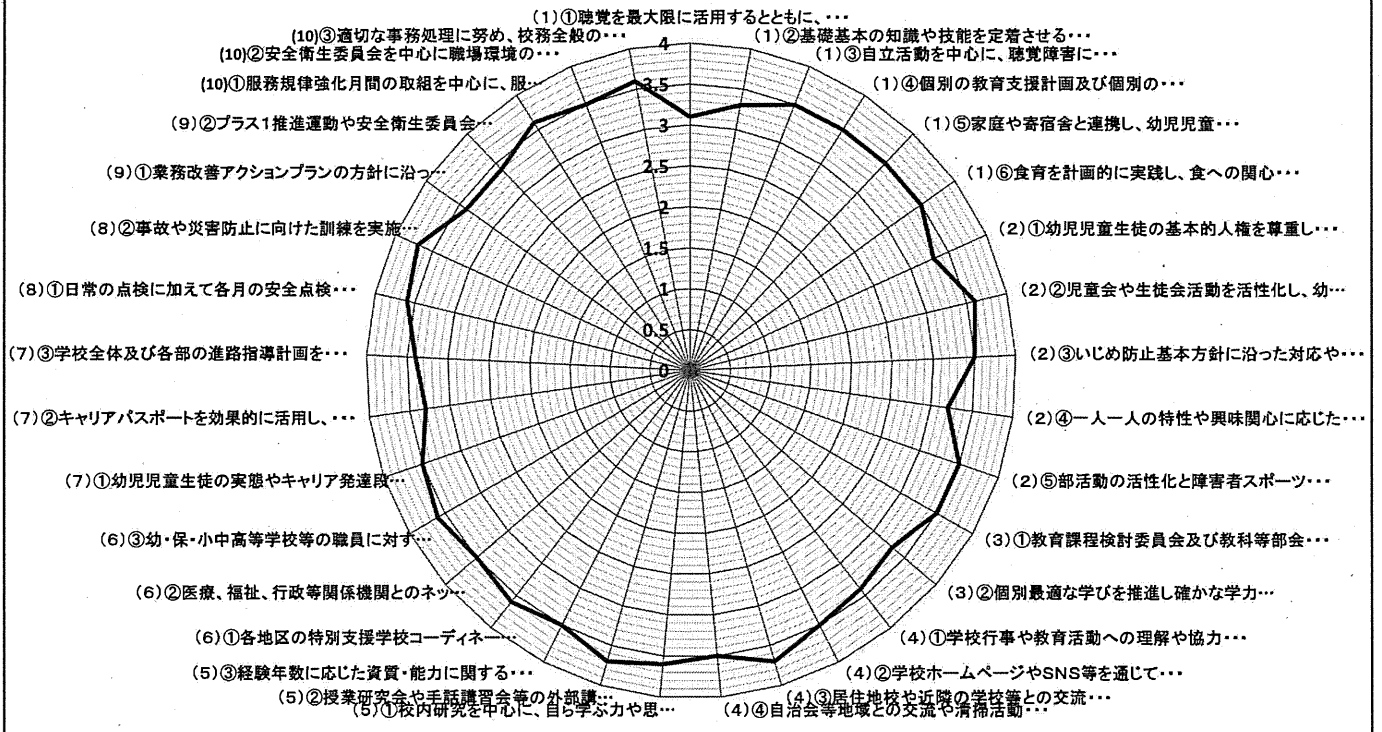
学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1)確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.1)	4 3 2 1	13 88 0 0	平均評価点「3.0」以上の基準をクリアしているが、全項目で一番低い評価点であった。また、本校の幼稚部、小・中学部、高等部の評価点が「3.0～3.1」と共通して低く、昨年度より評価点が「0.3」下がった。来年度の全日盛研長崎大会を控え、部内はもちろん校内でコミュニケーション手段や言語力の育成方法等について確認が必要である。
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	31 67 2 0	
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	50 48 2 0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	47 53 0 0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	45 55 0 0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	47 53 0 0	
(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	39 54 7 0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	59 41 0 0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	55 45 0 0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	30 64 6 0	
⑤部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	50 48 0 0	

到達度
十分達成○
概ね達成○
課題あり△

(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程及び高等部学科の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.5)	4	53		○
	3	47		
	2	0		
	1	0		
③個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.3)	4	36		○
	3	61		
	2	3		
	1	0		
(4) 関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.5)	4	47		○
	3	52		
	2	2		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.7)	4	69		◎
	3	31		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.5)	4	52		○
	3	47		
	2	2		
	1	0		
(5) 教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	59		○
	3	39		
	2	2		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.7)	4	71		◎
	3	27		
	2	2		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性及び指導力向上を図る。 (評価点 3.5)	4	48		○
	3	52		
	2	0		
	1	0		
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.5)	4	53		○
	3	47		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	56		○
	3	44		
	2	0		
	1	0		
(7) キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じて、キャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.5)	4	50	昨年度の全校的な課題であったキャリア教育全体計画の見直し等について、昨年度に比べ、評価点の平均が「0.4」上がり、改善が見られた。キャリア教育全体計画のさらなる活用、キャリア教育の実践・評価を教育課程の改善に反映させるべく取組を続けていきたい。	○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	32	昨年度の全校的な課題であったキャリアパスポートの活用も進み、昨年度に比べ、評価点の平均が「0.2」上がった。ただ、依然として評価点「2」を付けた教職員がいることから継続的な取組を続けていきたい。	○
	3	65		
	2	3		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		

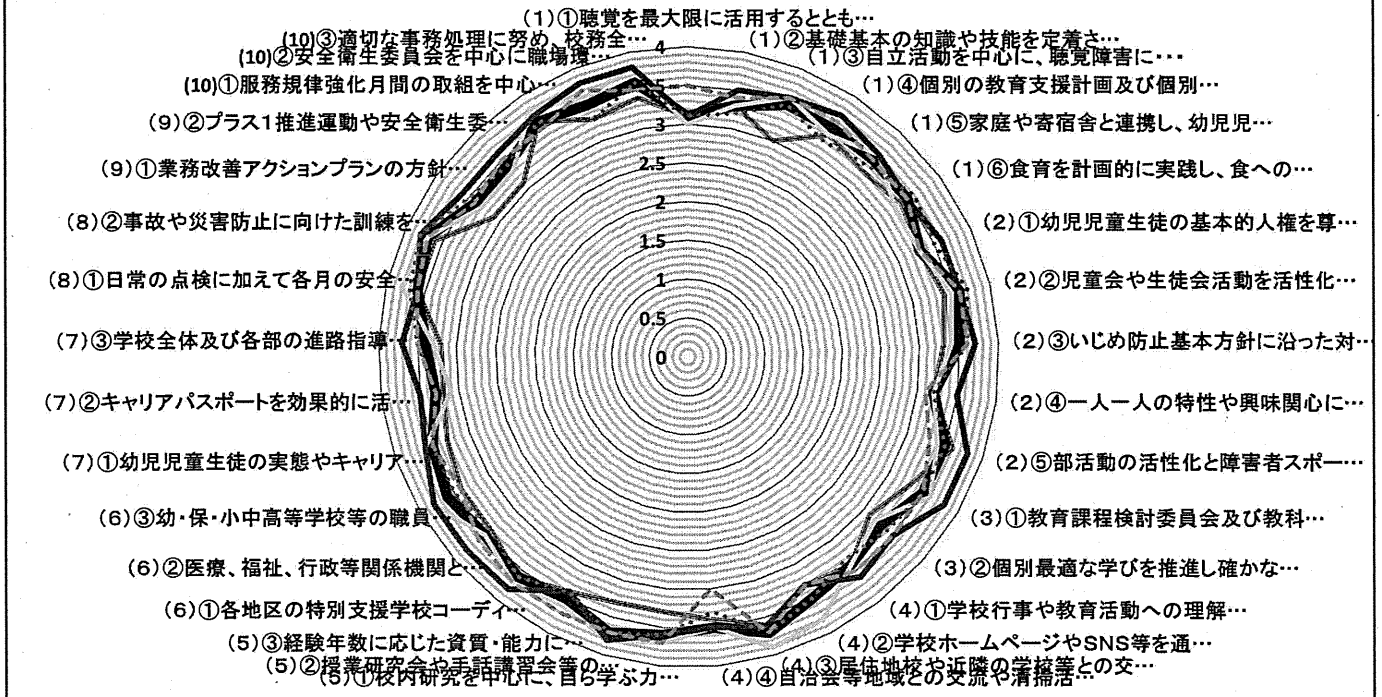
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.4)	4	42	昨年度の全校的な課題であった業務の効率化については、昨年度に比べ平均の評価点が「0.3」上がり、改善が見られた。学校行事等の見直し、校務分掌主任と学級担任の重複化を避けた人事、学部を越えた職員の乗り入れなどによる効果であると考え。継続した取組を進めていきたい。	○
	3	55		
	2	3		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.4)	4	41	昨年度の全校的な課題であった働き方改革についても、昨年度に比べ平均の評価点が「0.3」上がり、改善が見られた。成績処理期間や金曜日のノー会議デー、水曜日のノー残業デーの設定などの取組が職員の意識改革につながってきたようである。安全衛生委員会で出された意見を参考今後も継続した取組を進めていきたい。	○
	3	58		
	2	2		
	1	0		
suiyoubiuno				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.6)	4	61		○
	3	39		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.5)	4	53		○
	3	45		
	2	2		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.6)	4	63		○
	3	38		
	2	0		
	1	0		

本校・分教室全



総 括

— 全校平均 — 幼稚部 — 小学部 — 中学部 高等部 --- 分教室



令和6年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(幼稚部)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全体的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①聴覚を最大限に活用するとともに、幼児一人一人に応じたコミュニケーション手段を積極的に使いながら、生活言語の習得・拡充を図り、直接的・具体的な体験を通して豊かな感性と心身の調和的発達を促し、人間形成の基礎を培う。 ②一人一人の個性を伸ばし、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③保護者や関係機関との連携により、聴覚障害幼児の理解を深め、効果的に教育活動を展開する。 ④授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力の向上と教職員間の共通理解を図る。 ⑤乳・幼児を中心とした早期からの教育相談・支援機能の充実に努め、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育環境の充実に努める。 ⑦働きやすい職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
(1)確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.1)	4	11	○
	3	89	
	2	0	
	1	0	
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.3)	4	33	○
	3	67	
	2	0	
	1	0	
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.0)	4	11	○
	3	78	
	2	11	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	44	○
	3	56	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.3)	4	33	○
	3	67	
	2	0	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.4)	4	44	○
	3	56	
	2	0	
	1	0	
(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4	33	○
	3	67	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.4)	4	44	○
	3	56	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.3)	4	33	○
	3	67	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.2)	4	33	○
	3	56	
	2	11	
	1	0	
⑤部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.6)	4	56	○
	3	44	
	2	0	
	1	0	

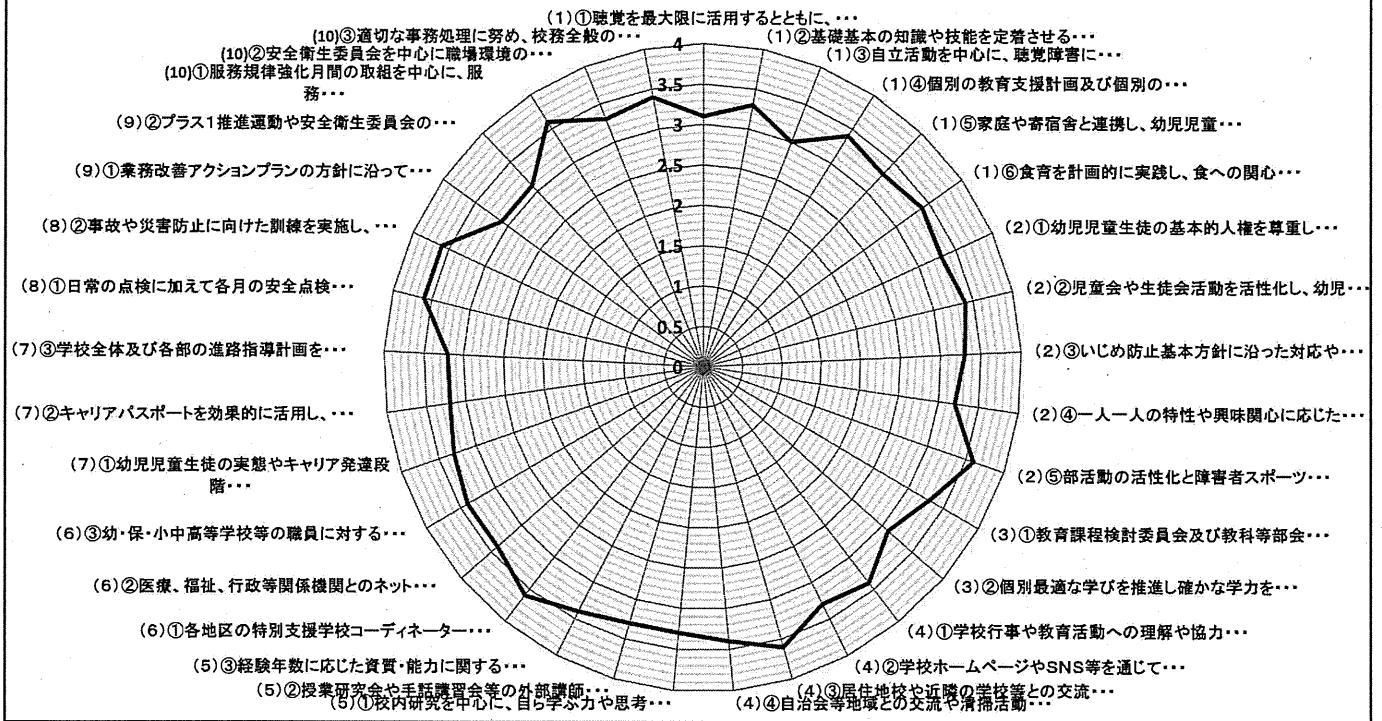
(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
②個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.1)	4	22	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	67		
	2	11		
	1	0		
(4) 関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	56		○
	3	44		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		
(5) 教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.3)	4	44	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	44		
	2	11		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.3)	4	44	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	44		
	2	11		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性及び指導力向上を図る。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.6)	4	56		○
	3	44		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		
(7) キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じて、キャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.2)	4	22		○
	3	78		
	2	0		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.2)	4	22		○
	3	78		
	2	0		
	1	0		
(8) 施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	56		○
	3	44		
	2	0		
	1	0		

②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.6)	4	56		○
	3	44		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.1)	4	22	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	67		
	2	11		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.1)	4	11		○
	3	89		
	2	0		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.6)	4	56		○
	3	44		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		

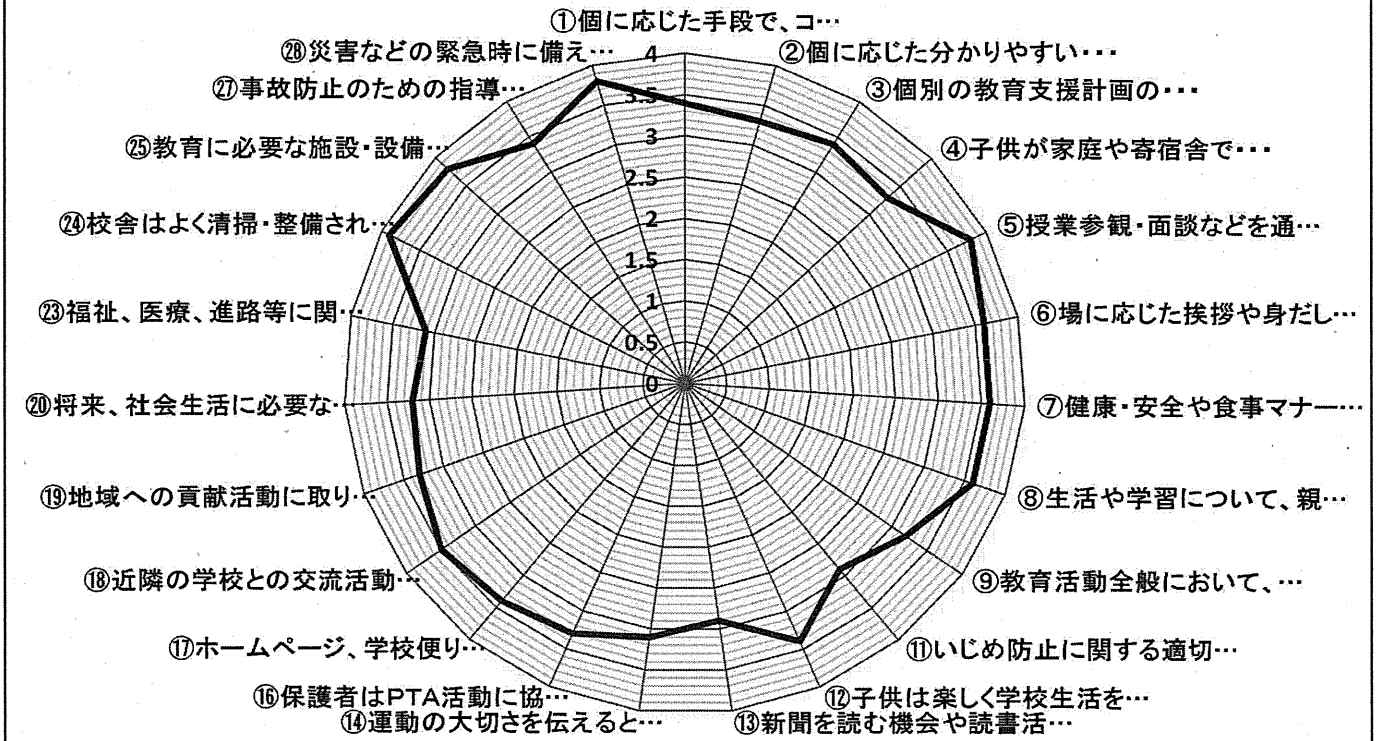
評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
 4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価
		4	3	2	1	
確かな学力と生きる力の育成						
1	個に応じた手段で、コミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	67%	11%	22%		3.4
2	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	56%	22%	22%		3.3
3	個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	67%	11%	22%		3.4
4	子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	56%	22%	22%		3.3
5	授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	88%		13%		3.8
6	場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	78%	11%		11%	3.6
7	健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	78%	11%		11%	3.6
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり						
8	生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	67%	22%	11%		3.6
9	教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	56%	22%	11%	11%	3.2
10	寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
11	いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	38%	25%	25%	13%	2.9
12	子供は楽しく学校生活を送っている。	67%	11%	22%		3.4
13	新聞を読む機会や読書活動の場面を設定している。	22%	56%	11%	11%	2.9
14	運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	44%	33%	11%	11%	3.1
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善						
15	タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。(小・中学・高等部保護者記入)	/	/	/	/	/
関係機関や地域・保護者との連携強化						
16	保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	44%	44%	11%		3.3
17	ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	56%	33%	11%		3.4
18	近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	63%	25%	13%		3.5
19	地域への貢献活動に取り組んでいる。	38%	50%	13%		3.3
キャリア教育の充実						
20	将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	56%	22%	11%	11%	3.2
21	高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
22	寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
23	福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	33%	44%	22%		3.1
施設・設備の整備と教育環境の充実						
24	校舎はよく清掃・整備されている。	89%	11%			3.9
25	教育に必要な施設・設備が整っている。	78%	22%			3.8
26	寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
27	事故防止のための指導や環境整備がなされている。	56%	33%	11%		3.4
28	災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	75%	25%			3.8
【成果と今後の課題】						
幼稚部の指導について、おおむね高評価を得ている。課題として、以下の2点について部内で共通理解し改善に努めていく。 ・「いじめ防止に関する適切な取組」・・・職員の気付きや、保護者からの相談があった場合は、迅速に対応し、学部の全職員で対応していく。好ましい人間関係が保てるよう、遊びの場などに教師が積極的に介入していく。 ・「読書活動の場面の設定」・・・朝の活動などで、各クラスとも絵本に触れる機会を設けているが、ことばを増やすためにはさらに多くの機会を設ける必要がある。本を楽しめる工夫を継続して行っていきたい。						
保護者から、子どもたちの様子を細かく伝えていること、学校全体で子どもたちを育てていることなど、「本校の良さ」として記入していただいた。幼稚部だけでなく、多くの先生方からの声掛けが保護者にとっては、安心の一つとなっている。今後も他学部の先生方と共に子供たちを見ていきたい。また、一部の保護者から手話でのコミュニケーションやその環境整備についての願いが出ている。幼稚部段階では、聴覚を最大限に活用しながら、一人一人に応じたコミュニケーション手段で言葉の習得や拡充を図っているため、本校幼稚部としての教育を伝えつつ、保護者のニーズに可能な範囲で対応できるようにしていきたい。						

幼稚部職員



幼稚部保護者



令和6年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(小学部)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①一人一人の児童の実態に応じた指導の充実に努め、聴覚を最大限に活用し、コミュニケーション力を高めるとともに、確かな日本語の習得と学力向上を目指し生きる力の基礎を培う。 ②人権教育や道徳教育を推進し、一人一人の個性の伸長と豊かな人間性の育成に努める。 ③保護者や関係機関との連携により、聴覚障害児童の理解を深め、効果的・効率的に教育活動を展開する。 ④授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力と教職員間の協働体制を高める。 ⑤児童を中心とした教育相談・支援機能の充実に努め、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥個々の児童のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導を行う。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
(1)確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.0)	4	0	評価点は3.0であるが、昨年度より0.7ポイント下がっている。研究を進めることで、職員間に課題意識が高まってきた。子供たちの伝え合いの力を伸ばすために、生活や授業の中で意図的に場面を仕組むとともに教師の関わり方について学部で検討していきたい。
	3	100	
	2	0	
	1	0	
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
⑤部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	

到達度
十分達成○
概ね達成○
課題あり△

(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.2)	4	25	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	67		
	2	8		
	1	0		
(4) 関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.8)	4	83		◎
	3	17		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.9)	4	92		◎
	3	8		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(5) 教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.8)	4	83		◎
	3	17		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
(7) キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じて、キャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.1)	4	17	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	75		
	2	8		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		
(8) 施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		

②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.3)	4	42	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	50		
	2	8		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.3)	4	42	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	50		
	2	8		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

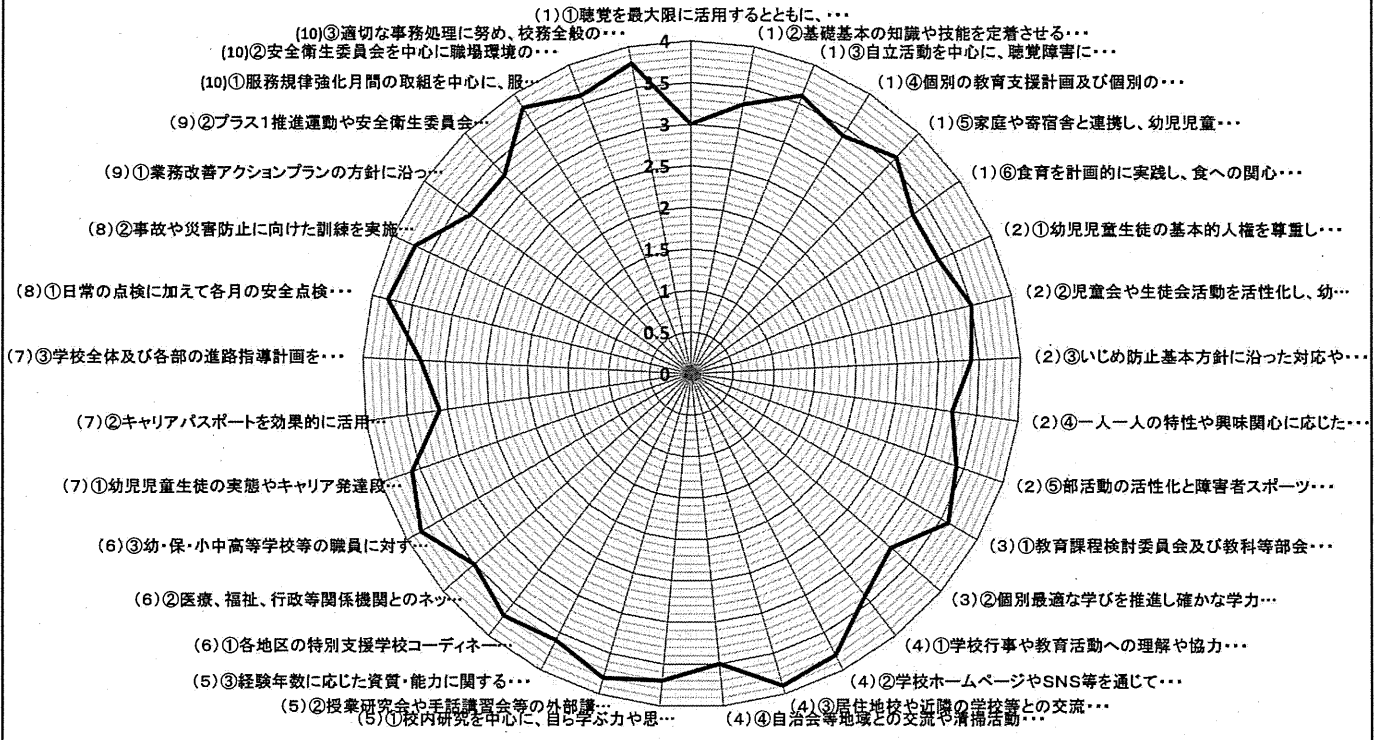
具体的評価内容		評価%				評価
		4	3	2	1	
確かな学力と生きる力の育成						
1	個に応じた手段で、コミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	50%	50%			3.5
2	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	58%	42%			3.6
3	個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	50%	50%			3.5
4	子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	50%	50%			3.5
5	授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	58%	42%			3.6
6	場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	58%	42%			3.6
7	健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	67%	33%			3.7
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり						
8	生活や学習について、親身になって相談のしてくれる体制ができています。	58%	42%			3.6
9	教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	58%	42%			3.6
10	寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)		100%			3.0
11	いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	40%	60%			3.4
12	子供は楽しく学校生活を送っている。	70%	30%			3.7
13	新聞を読む機会や読書活動の場面を設定している。	30%	50%	20%		3.1
14	運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	20%	60%	20%		3.0
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善						
15	タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。(小・中学・高等部保護者記入)	67%	33%			3.7
関係機関や地域・保護者との連携強化						
16	保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	33%	67%			3.3
17	ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	42%	58%			3.4
18	近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	50%	42%	8%		3.4
19	地域への貢献活動に取り組んでいる。	50%	33%	17%		3.3
キャリア教育の充実						
20	将来、社会生活に必要なマナーやルールなどついて、子供に応じて指導がなされている。	50%	42%	8%		3.4
21	高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)					
22	寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)		100%			3.0
23	福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	50%	42%	8%		3.4
施設・設備の整備と教育環境の充実						
24	校舎はよく清掃・整備されている。	58%	42%			3.6
25	教育に必要な施設・設備が整っている。	67%	25%	8%		3.6
26	寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)		100%			3.0
27	事故防止のための指導や環境整備がなされている。	45%	55%			3.5
28	災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	45%	55%			3.5
【自由記述】						
特になし						
【成果と今後の課題】						
<p>評価点が「3.0」を下回る項目はなかったが、「新聞を読む機会や読書活動の場面の設定」の項目、「運動の大切さ、スポーツへの参加を促す取組」について「あまりあてはまらない」との評価が上がっていた。図書の日として毎週金曜日を設定し本を借りる機会は設けているが、学級でもさらに工夫ができないか検討していく。運動については、体育の学習に楽しく前向きに参加している児童が多いので、今後も継続して啓発していきたい。</p>						

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

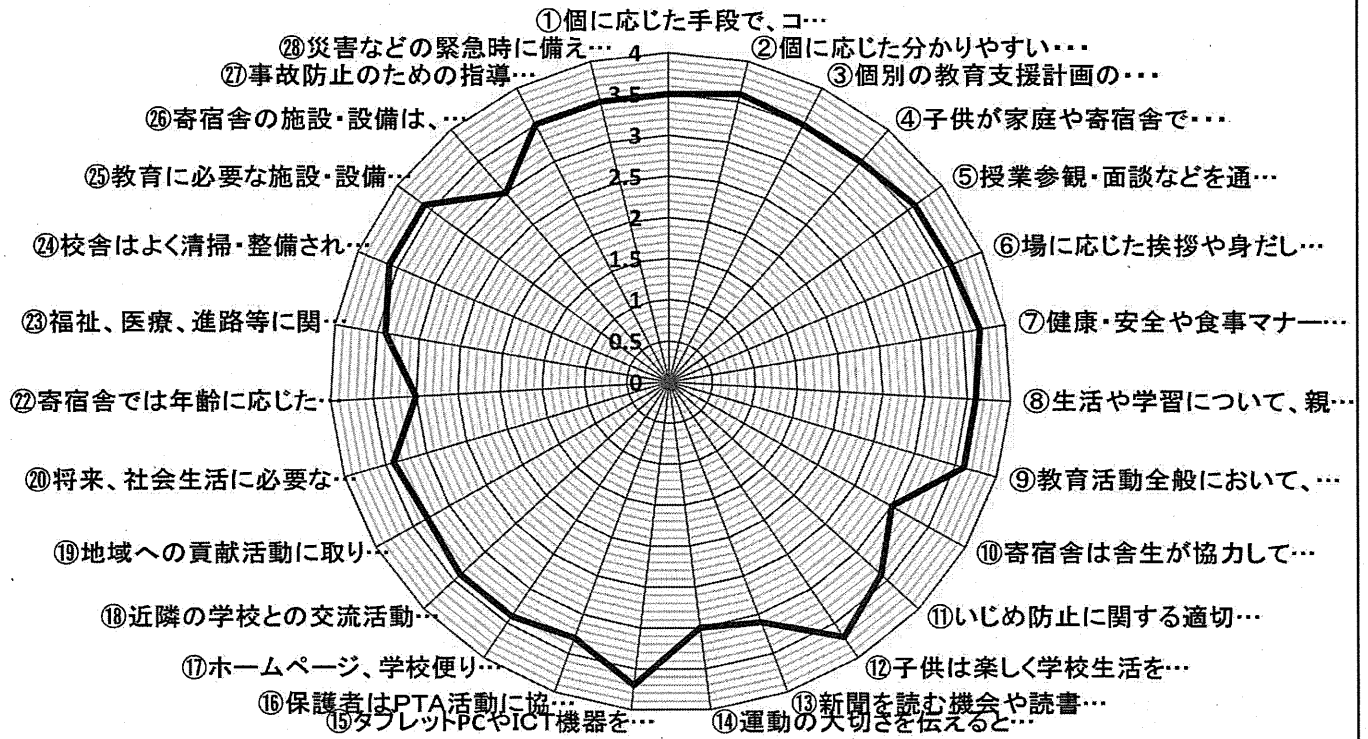
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	83%	17%			3.8
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	100%				4.0
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	67%	33%			3.7
4	先生は、家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	83%	17%			3.8
5	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	83%	17%			3.8
6	先生は、私の良いところをほめてくれる。	100%				4.0
7	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	100%				4.0
8	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	67%	33%			3.7
9	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)	100%				4.0
10	間違っただけや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	100%				4.0
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	83%	17%			3.8
12	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	67%	33%			3.7
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	83%	17%			3.8
14	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	100%				4.0
15	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	83%	17%			3.8
16	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	67%	17%	17%		3.5
17	先生はいろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	83%	17%			3.8
18	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	/	/	/	/	/
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	83%	17%			3.8
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	100%				4.0
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	100%				4.0
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)	100%				4.0
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	100%				4.0
【自由記述】 特になし						
【成果と今後の課題】 ・保護者アンケートと同様、新聞や本についての項目の評価が他に比べ低かった。高学年になると新聞から情報を取り入れる力もつけさせたいので、学部での取組を検討していく。 ・今年度初めて親子での地域貢献活動として「大村車両基地駅清掃」を実施した。子供たちが地域のために活動し成就感をもてるような取組を今後も計画していきたい。						

小学部職員



小学部保護者



令和6年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(中学部)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立積極的に社会参加できる力を培う。			
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部まで系統的な教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を捉えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。			
学部努力目標	①聴覚活用を基本に生徒一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用しながら、言語力の拡充を図る。 ②言語力と学力を高めるとともに、生徒一人一人が社会自立、職業自立を目指し、主体的に自己実現を図っていく能力や態度を育てる。 ③保護者や関係機関との連携を深め、関係者からの意見を学部経営に生かす。 ④授業研究や専門性を高める研修を行い、指導力の向上を図る。 ⑤小・中学生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥施設・設備の整備を進めるとともに、教育環境の充実を図る。			
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない				
目標達成のための主な取組		点数	評価 %	今後に向けての課題
(1) 確かな学力と生きる力の育成				
①聴覚を最大限に活用するとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.1)		4 3 2 1	8 92 0 0	○
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.5)		4 3 2 1	50 50 0 0	○
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.6)		4 3 2 1	58 42 0 0	○
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.7)		4 3 2 1	67 33 0 0	◎
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.6)		4 3 2 1	58 42 0 0	○
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.5)		4 3 2 1	50 50 0 0	○
(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり				
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.6)		4 3 2 1	58 42 0 0	○
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.6)		4 3 2 1	58 42 0 0	○
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.7)		4 3 2 1	67 33 0 0	◎
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.5)		4 3 2 1	50 50 0 0	○
⑤部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.8)		4 3 2 1	75 25 0 0	◎

(3)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
②個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
③居住地域や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組む、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
(7)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じて、キャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		

②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.8)	4	83		◎
	3	17		
	2	0		
	1	0		

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
 4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

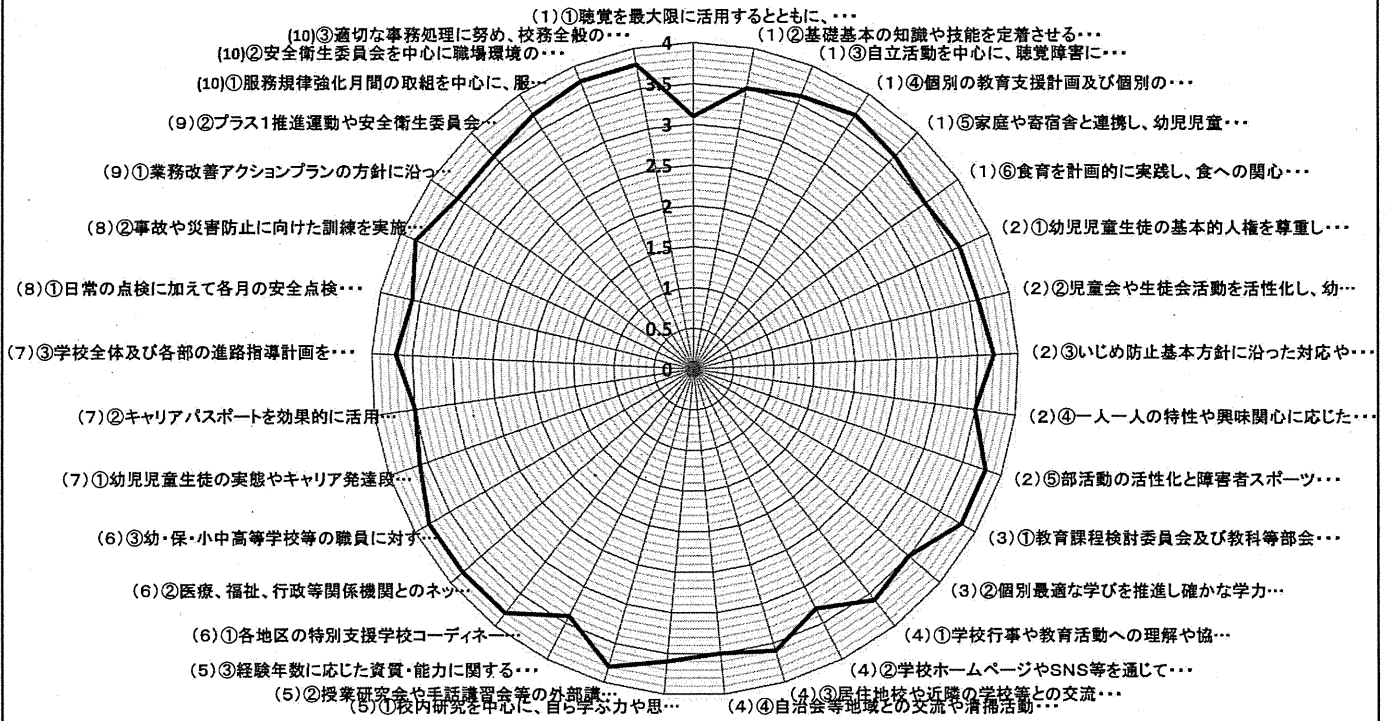
具体的評価内容		評価%				評価
		4	3	2	1	
確かな学力と生きる力の育成						
1	個に応じた手段で、コミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	71%	29%			3.7
2	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	71%	29%			3.7
3	個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	71%	29%			3.7
4	子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	71%	14%	14%		3.6
5	授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	71%	29%			3.7
6	場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	86%	14%			3.9
7	健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	71%	29%			3.7
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり						
8	生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	71%	14%	14%		3.6
9	教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	71%	14%	14%		3.6
10	寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
11	いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	57%	43%			3.6
12	子供は楽しく学校生活を送っている。	71%	14%		14%	3.4
13	新聞を読む機会や読書活動の場を設定している。	71%	14%	14%		3.6
14	運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	71%	29%			3.7
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善						
15	タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。(小・中学・高等部保護者記入)	80%	20%			3.8
関係機関や地域・保護者との連携強化						
16	保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	57%	43%			3.6
17	ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	57%	43%			3.6
18	近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	43%	57%			3.4
19	地域への貢献活動に取り組んでいる。	71%	29%			3.7
キャリア教育の充実						
20	将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	71%	29%			3.7
21	高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)					
22	寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
23	福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	33%	50%	17%		3.2
施設・設備の整備と教育環境の充実						
24	校舎はよく清掃・整備されている。	86%	14%			3.9
25	教育に必要な施設・設備が整っている。	86%		14%		3.7
26	寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0
27	事故防止のための指導や環境整備がなされている。	71%	29%			3.7
28	災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	71%	29%			3.7
【自由記述】						
特になし						
【成果と今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎に関する項目は、「4」が100%で高評価であった。 ・「子供は楽しく学校生活を送っている」が昨年度の「3.9」から「3.4」に下がっている。一番大事な項目であるので、原因を究明し学部全体での対策をしっかりと立てていきたい。 ・「保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している」は、「3.0」から「3.6」に上がっている。PTA役員の呼び掛けで、PTA行事への参加者が昨年よりも増えてきているので、今後も保護者と協力してPTA活動を盛り上げていきたい。 ・交流学习については、昨年度よりも増やして充実させたが、保護者にその取組の様子が上手く伝わっていなかったと思われるので、来年度は取組の様子についてしっかりと伝えていきたい。 ・「福祉、医療、進路等に関する情報提供」の評価が昨年度に引き続き3.2と低いので、今後、生徒・保護者のニーズをしっかりと把握し、ニーズに応じた対応ができるように準備していきたい。 						

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

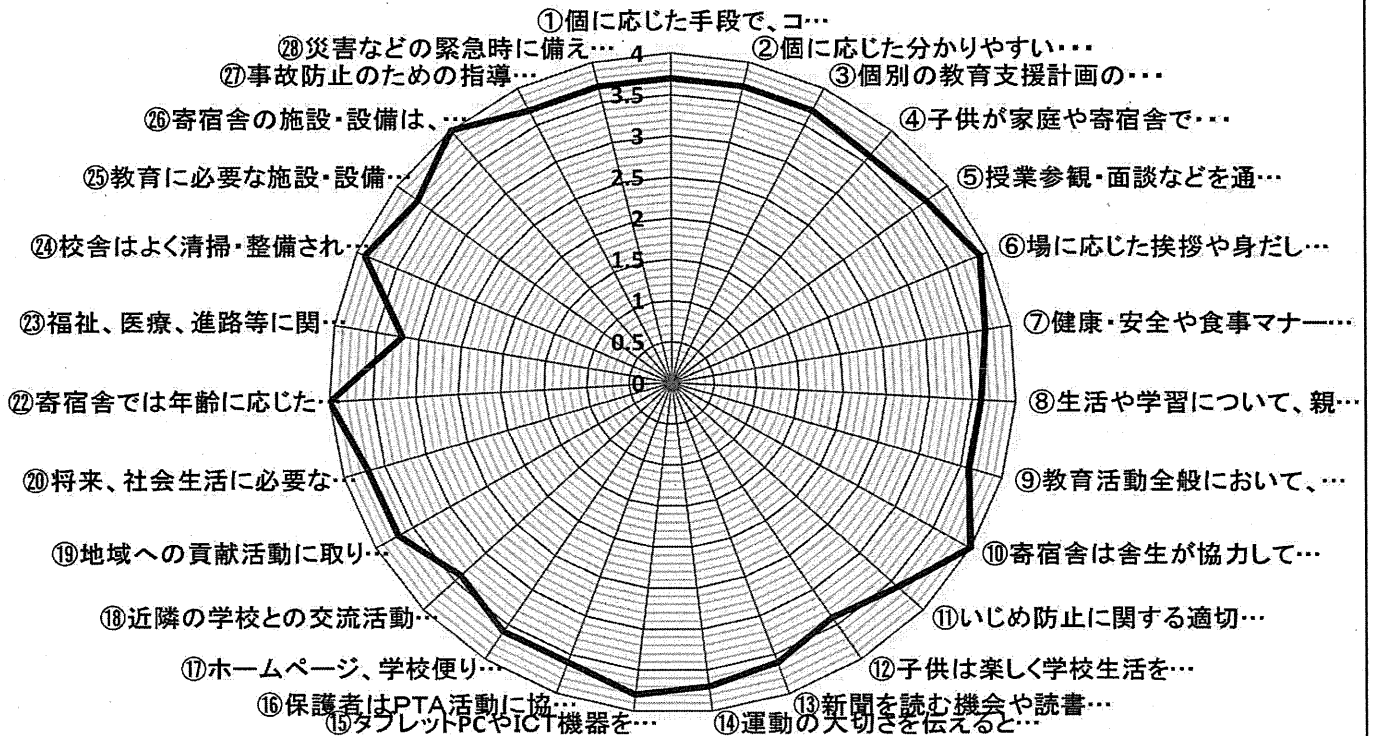
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	38%	63%			3.4
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	75%		25%		3.5
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	50%	38%	13%		3.4
4	先生は、家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	38%	50%	13%		3.3
5	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	75%	25%			3.8
6	先生は、私の良いところをほめてくれる。	63%	38%			3.6
7	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	63%	25%	13%		3.5
8	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	38%	50%	13%		3.3
9	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)		100%			3.0
10	間違っただけや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	50%	50%			3.5
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	50%	50%			3.5
12	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	63%	38%			3.6
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	63%	38%			3.6
14	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	75%	13%	13%		3.6
15	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	29%	57%	14%		3.1
16	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	71%	29%			3.7
17	先生はいろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	75%	25%			3.8
18	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	57%	14%	29%		3.3
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	50%	38%	13%		3.4
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	50%	38%	13%		3.4
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	75%	25%			3.8
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)	100%				4.0
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	75%	13%	13%		3.6
【自由記述】						
特になし						
【成果と今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・「3.3」から「3.6」と去年と比較して大きく数字が上がったものとしては、「先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる」という点である。ICTを活用した授業が、生徒が実感するくらい充実してきている。 ・分かりやすい授業という点では、これからも学部全体で研究を深めながら、少しでも生徒の理解につながる授業が行えるように努力していきたい。 ・地域の学校との交流及び共同学習については、「3.1」となっているが、昨年度よりも交流学習はさらに増やして充実している。 ・「困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる」は、「3.8」から「3.5」に下がっている。様々な悩みを抱えている生徒が増えてきているので、生徒の心の変化に細心の注意を払い、家庭と連携を図りながら親身に対応していきたい。 ・進路については、近年、高等学校や他県への進学を希望する生徒も出てきているので、早い段階でしっかりと本人や保護者と話し合いを行い、情報提供を行うなどの進路指導を行っていきたい。 						

中学部職員



中学部保護者



令和6年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(高等部)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部まで系統的な教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実を努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①生徒一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用しながら、コミュニケーション力や言語力の向上に努め、互いの意思や考えを伝えあう力を高める。 ②生徒の学力に応じて、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、キャリア教育に基づいた教育活動を展開し、一般・社会常識の定着や勤労観・職業観の確立を目指す。 ③保護者及び関係機関、地域との連携を図り、高等部の教育活動への理解を深める。 ④高等部は生きる力を育むことのできる最後の教育機関であることの自覚と責任をもち、専門性や指導力の向上を目指す。 ⑤中・高校生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥部管轄の施設・設備の整備と学習環境の充実を努める。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかというと達成されていない 1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1) 確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.1)	4 3 2 1	5 95 0 0	○
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	20 75 5 0	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。 ○
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実を努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	50 50 0 0	○
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	30 70 0 0	○
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	35 65 0 0	○
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	55 45 0 0	○
(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実を努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	50 50 0 0	○
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.7)	4 3 2 1	70 30 0 0	◎
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	60 40 0 0	○
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	30 60 10 0	昨年度より、平均の評価点は「0.2」上がったが、2名から「2」の評価があった。理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。 ○
⑤部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	50 50 0 0	○

(3)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
②個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.4)	4	35		○
	3	65		
	2	0		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.3)	4	30		○
	3	70		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.5)	4	50	昨年度より、平均の評価点は「0.2」上がったが、「2」の評価があった。保護者アンケートの関連項目においても、複数の保護者から「2」の評価があった。情報発信したものがきちんと伝わっているのかなどを保護者や生徒に確認し、共通理解を図りながら理解・啓発につなげていきたい。	○
	3	45		
	2	5		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.7)	4	65		◎
	3	35		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.3)	4	30	地域の清掃活動に学年毎に取り組んでいるが、「2」の評価があった。教育課程検討委員会でも地域とのつながりにおける課題が挙げられたので、次年度の取組を具体的に検討していきたい。	○
	3	65		
	2	5		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.7)	4	70	評価点自体は非常に高かったが、職員の手話使用の課題により「2」の評価があった。手話講習会だけではなく、様々な場面で職員の手話力向上に向けた取組を進めていきたい。	◎
	3	25		
	2	5		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.4)	4	35		○
	3	65		
	2	0		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.6)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(7)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じて、キャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	35	昨年度より、平均の評価点が「0.3」上がったが、「2」の評価があった。理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	60		
	2	5		
	1	0		
③学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.7)	4	65		◎
	3	35		
	2	0		
	1	0		

②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.4)	4	35		○
	3	65		
	2	0		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.6)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	35	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	○
	3	60		
	2	5		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.6)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
 4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容	評価%				評価
	4	3	2	1	
確かな学力と生きる力の育成					
1 個に応じた手段で、コミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	44%	56%			3.4
2 個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	44%	56%			3.4
3 個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	40%	50%		10%	3.2
4 子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	22%	78%			3.2
5 授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	60%	30%		10%	3.4
6 場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	56%	44%			3.6
7 健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	50%	40%		10%	3.3
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気の学校づくり					
8 生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	40%	40%	10%	10%	3.1
9 教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	44%	33%	22%		3.2
10 寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	29%	71%			3.3
11 いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	50%	40%		10%	3.3
12 子供は楽しく学校生活を送っている。	56%	44%			3.6
13 新聞を読む機会や読書活動の場を設定している。	44%	44%	11%		3.3
14 運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	40%	60%			3.4
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善					
15 ◇タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。(小・中学・高等部保護者記入)	38%	50%	13%		3.3
関係機関や地域・保護者との連携強化					
16 保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	11%	56%	22%	11%	2.7
17 ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	30%	50%	20%		3.1
18 近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	44%	44%	11%		3.3
19 地域への貢献活動に取り組んでいる。	33%	44%	22%		3.1
キャリア教育の充実					
20 将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	50%	40%		10%	3.3
21 高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	40%	40%	10%	10%	3.1
22 寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	43%	57%			3.4
23 福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	38%	25%	25%	13%	2.9
施設・設備の整備と教育環境の充実					
24 校舎はよく清掃・整備されている。	67%	33%			3.7
25 教育に必要な施設・設備が整っている。	60%	40%			3.6
26 寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	57%	43%			3.6
27 事故防止のための指導や環境整備がなされている。	67%	33%			3.7
28 災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	67%	33%			3.7
【自由記述】					
・項目15については、「(パソコン、タブレットPCを)活用しているのか分からない」、項目9・項目23において、特に進路指導について「『このような指導をした結果、本人はこう考えていることが分かった。そのため次はこのような指導を進めていく』といった話が親に伝えられていない」、項目16については、「先生方が保護者によって求める『協力』が違いすぎて不満を耳にする」などの意見があった。 ・「寄宿舎の先生とのコミュニケーションが難しい」という意見もあった。 【成果と今後の課題】 ・項目16・23の評価点が「3.0」を下回った。項目16の「PTA活動への協力」については、半数の生徒の保護者が佐世保以北にお住まいということで無理は言えない状況であるが、引き続き協力の要請は行っていきたい。項目23の「福祉、医療、進路等に関する情報提供」については、進路指導の在り方についての御意見をいただいた。生徒一人一人の状況に応じた進路情報の提供、進路指導中の生徒の様子などを丁寧に保護者に伝えることに留意していきたい。 ・項目16・23以外の項目は、基準となる評価点「3.0」以上を満たしていた。しかし、項目21の評価点が昨年度より「0.5」低い「3.1」となった。高等部は出口の教育を担っており、社会人としての資質を高めるための指導に特に力を入れて取り組んでいるが、低い評価となった。保護者との共通理解が十分に図れていないと思うので、今後、丁寧に情報を伝えていきたい。ちなみに、生徒アンケートの項目18「将来の進路に向けたアドバイス」では、昨年度より「0.6」上がり、「3.8」の高い評価点となっている。 ・他にも、「2」「1」の評価をされている項目が散見され、自由記述の欄には学校の保護者対応への不満が細かく書かれていた。改善すべきことは改善していきたいが、生徒アンケート項目11の評価点(3.8)、保護者アンケート項目12の評価点(3.6)が示すように生徒が安心して伸び伸びと自分の学びを深められることを最優先に改善していきたい。					

(高等) 部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	40%	50%	10%		3.3
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	50%	40%	10%		3.4
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	70%	30%			3.7
4	先生は、家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	30%	60%	10%		3.2
5	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	50%	50%			3.5
6	先生は、私の良いところをほめてくれる。	40%	60%			3.4
7	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	30%	60%	10%		3.2
8	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	20%	60%	10%	10%	2.9
9	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)	29%	71%			3.3
10	間違ったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	30%	70%			3.3
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	80%	20%			3.8
12	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	60%	30%	10%		3.5
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	20%	70%	10%		3.1
14	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	40%	30%	20%	10%	3.0
15	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	50%	40%	10%		3.4
16	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	20%	60%	20%		3.0
17	先生はいろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	70%	30%			3.7
18	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	80%	20%			3.8
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	50%	50%			3.5
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	50%	50%			3.5
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	80%	20%			3.8
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)	71%	29%			3.7
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	80%	10%	10%		3.7

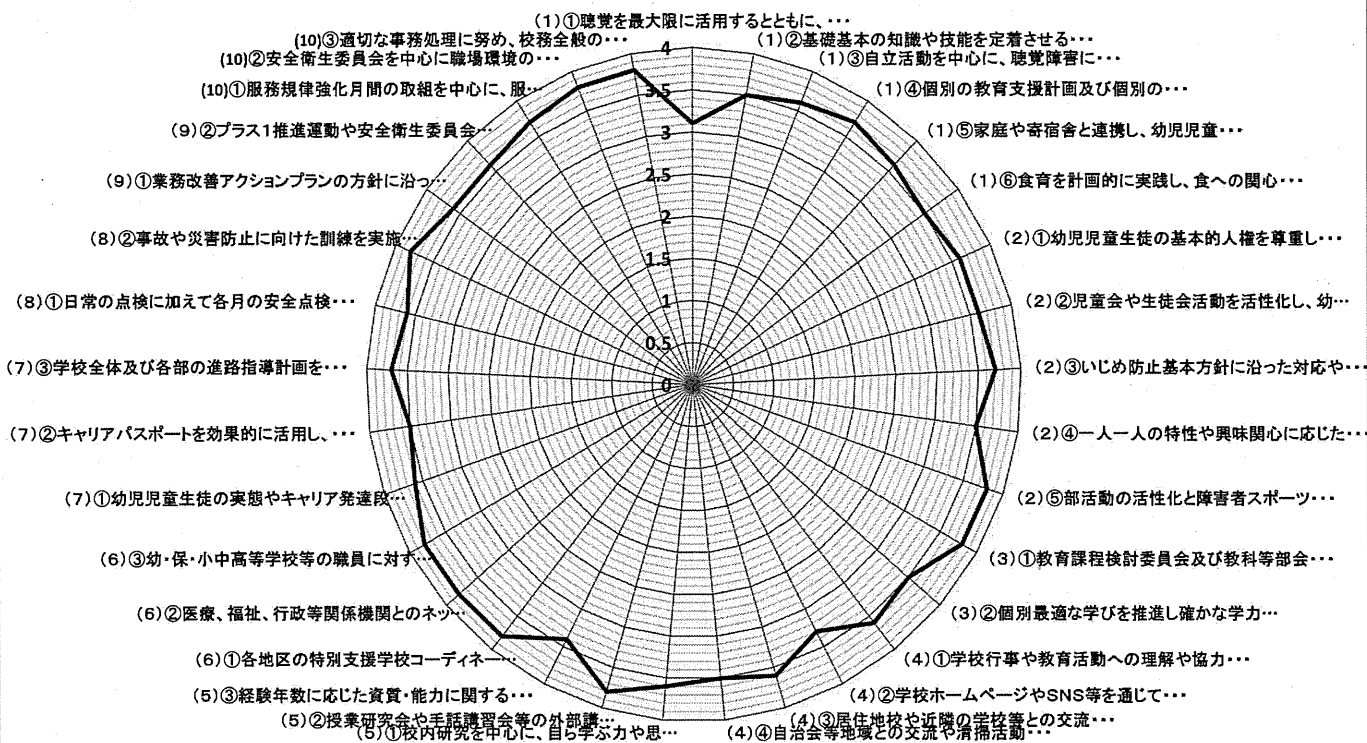
【自由記述】

- ・特定の科目に対して、「理由、説明の不足」「誤りをそのままにして進むことがある」という意見があった。
- ・会議が多過ぎて、部活動を見てもらえないため部活動生が困っているとの意見があった。
- ・教師対生徒、教師間で話をするときに手話を使ってほしいという要望があった。

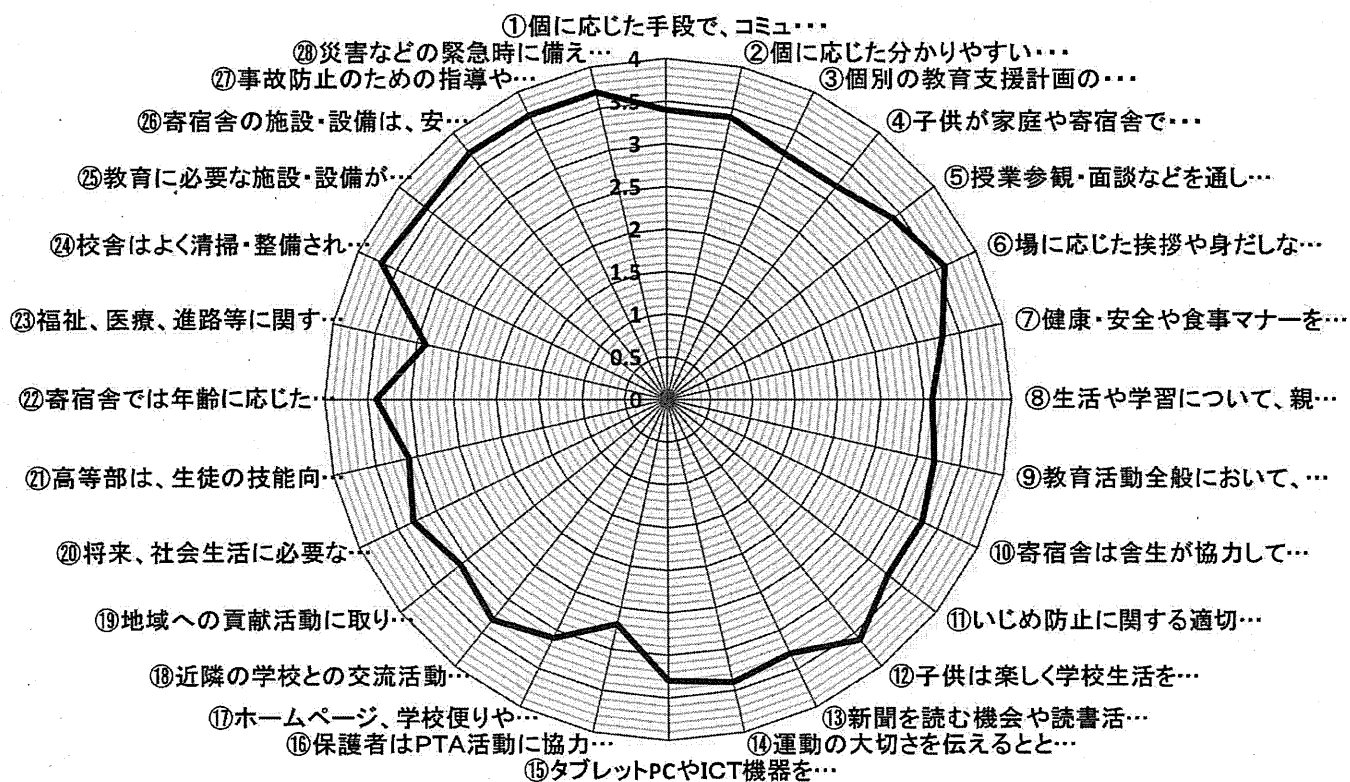
【成果と今後の課題】

- ・項目8の評価点が「3.0」を下回る「2.9」となった。生徒会活動では、生徒の主体性を重んじ話し合い活動や行事の準備・運営等に取り組ませているが、自分の意見が十分反映されていないと感じている生徒が「2」「1」の評価をしている。今後も、できる限り生徒と合意形成を図りながら進めていく必要がある。
- ・項目14・16の評価点は「3.0」とぎりぎり基準を満たしてはいるが、どちらも「2」「1」の評価をしている生徒が複数名いた。「パソコン・タブレットPCを使った指導」「地域貢献活動への取組」については見直しを行いたい。また、自由記述にある意見についても高等部職員間で協議し改善を図りたい。

高等部職員



高等部保護者



令和6年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(分教室)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。			
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全体的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。			
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない				
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題	到達度 十分達成◎ 概ね達成○ 課題あり△
(1) 確かな学力と生きる力の育成				
①聴覚を最大限に活用するとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり				
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4	27		○
	3	73		
	2	0		
	1	0		
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.1)	4	18	理由が未記入のため、学部会等で意見を出し合い改善策を検討する。	△
	3	73		
	2	9		
	1	0		
⑤部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.3)	4	30	中学部3年生のみ部活動をしていたが、今年度は中総体(6月)で活動が終わり、現在は取り組んでいない。	○
	3	70		
	2	0		
	1	0		
(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
②個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		

(4)関係機関や地域・保護者との連携強化			
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.5)	4	45	○
	3	55	
	2	0	
	1	0	
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.3)	4	27	○
	3	73	
	2	0	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.7)	4	73	◎
	3	27	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.0)	4	0	○
	3	100	
	2	0	
	1	0	
(5)教職員の専門性及び指導力の向上			
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	73	◎
	3	27	
	2	0	
	1	0	
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.7)	4	73	◎
	3	27	
	2	0	
	1	0	
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.7)	4	73	◎
	3	27	
	2	0	
	1	0	
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.7)	4	73	◎
	3	27	
	2	0	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.6)	4	60	○
	3	40	
	2	0	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	36	○
	3	64	
	2	0	
	1	0	
(7)キャリア教育の充実			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じて、キャリア教育全体計画を見直し、実践や評価を教育課程の改善に反映させる。 (評価点 3.5)	4	55	○
	3	45	
	2	0	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	30	○
	3	70	
	2	0	
	1	0	
③学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.5)	4	45	○
	3	55	
	2	0	
	1	0	
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	64	○
	3	36	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4	73	◎
	3	27	
	2	0	
	1	0	
(9)働き方改革の推進			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.4)	4	36	○
	3	64	
	2	0	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心とした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.5)	4	55	○
	3	45	
	2	0	
	1	0	

(10)コンプライアンスの徹底				
①サービス規律強化月間の取組を中心に、サービス規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.7)	4	73		◎
	3	27		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		

令和6年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 7人/7人 回収率 100%

(分 教室)

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価
		4	3	2	1	
確かな学力と生きる力の育成						
1	個に応じた手段で、コミュニケーション力を高めるための指導がなされている。	71%	29%			3.7
2	個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	71%	29%			3.7
3	個別の教育支援計画の支援内容は、保護者や子供のニーズに合っている。	71%	29%			3.7
4	子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	43%	43%	14%		3.4
5	授業参観・面談などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	71%	29%			3.7
6	場に応じた挨拶や身だしなみの指導がなされている。	57%	29%	14%		3.4
7	健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	71%	29%			3.7
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり						
8	生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	71%	14%	14%		3.6
9	教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	71%	29%			3.7
10	寄宿舎は舎生が協力して活動する機会を設定している。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
11	いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	43%	57%			3.4
12	子供は楽しく学校生活を送っている。	86%	14%			3.9
13	新聞を読む機会や読書活動の場を設定している。	57%	43%			3.6
14	運動の大切さを伝えるとともに、部活動や障害者スポーツへの参加を促す取組をしている。	71%	29%			3.7
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善						
15	◇タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。(小・中学・高等部保護者記入)	100%				4.0
関係機関や地域・保護者との連携強化						
16	保護者はPTA活動に協力的で、計画的に活動している。	57%	29%	14%		3.4
17	ホームページ、学校便りや学部・学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を発信している。	57%	29%	14%		3.4
18	近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	71%	29%			3.7
19	地域への貢献活動に取り組んでいる。	43%	43%	14%		3.3
キャリア教育の充実						
20	将来、社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	71%	14%	14%		3.6
21	高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
22	寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
23	福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	57%	14%	29%		3.3
施設・設備の整備と教育環境の充実						
24	校舎はよく清掃・整備されている。	57%	43%			3.6
25	教育に必要な施設・設備が整っている。	29%	57%	14%		3.1
26	寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/
27	事故防止のための指導や環境整備がなされている。	57%	43%			3.6
28	災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	57%	29%	14%		3.4
【自由記述】						
<p>・個別の授業で先生と保護者で目標を共有したい。ダラダラして終わるので、結局何をしたかったのか分からなくなる。保護者が参加する目的は、先生と子供のやり取りを見て、学び実践することだと思う。こうしていったほうが良いとか具体的なアドバイスもほしい。</p> <p>・季節の行事、遠足も含めて子供や保護者も楽しめる内容になっていてとてもよかった。キリンのバックヤードツアーは大変勉強になった。</p> <p>・遊具は壊れたままだが、その中でも虫取りや鬼ごっこなど工夫して楽しく遊んでいる。</p> <p>・親子給食を今年度もしてほしい。</p> <p>・子供にとって日頃の遊びは体力の強化にもつながると考えています。そのことを鑑みて、学校での時間も貴重な体力づくりにつながるものと思いますので、他校が休み時間に遊具で遊ぶように、施設の改善又は新設するなどの動きを進めていただきたく思っています。</p> <p>【成果と今後の課題】</p> <p>・全体的に昨年度と比較して評価が下がっており、特に保護者との連携や情報の発信について、課題がある。</p> <p>・関係機関や地域、保護者との連携強化の面について、単純比較はできませんが、昨年度と比較してポイントが下がっている項目が多くなっています。特に、学習の様子や取組、保護者との連携や進路や福祉党についての情報提供に関しては、「あまりあてはまらない」という回答が増えていますので、これまで以上に学校での様子をお伝えしたり様々な情報について発信したりしていけるよう工夫していきます。</p> <p>・ご意見をいただきました個別の授業につきましては、目標の共有や具体的な取り組み方をお伝えできるようにしていきたいと思っております。</p> <p>・昨年度からご意見をいただきました遊具につきましては、今年度内に設計、次年度設置で進められることになりました。壊れた遊具の撤去に事務との相談を進めていきたいと思っております。老朽化が進んでいるところにつきましても、危険がないようにその都度対応し、子ども達が安心して安全に過ごせるよう努めていきます。</p> <p>・親子給食については、今年度全保護者を対象に実施します。今後も継続していけるようにしたいと思います。</p>						

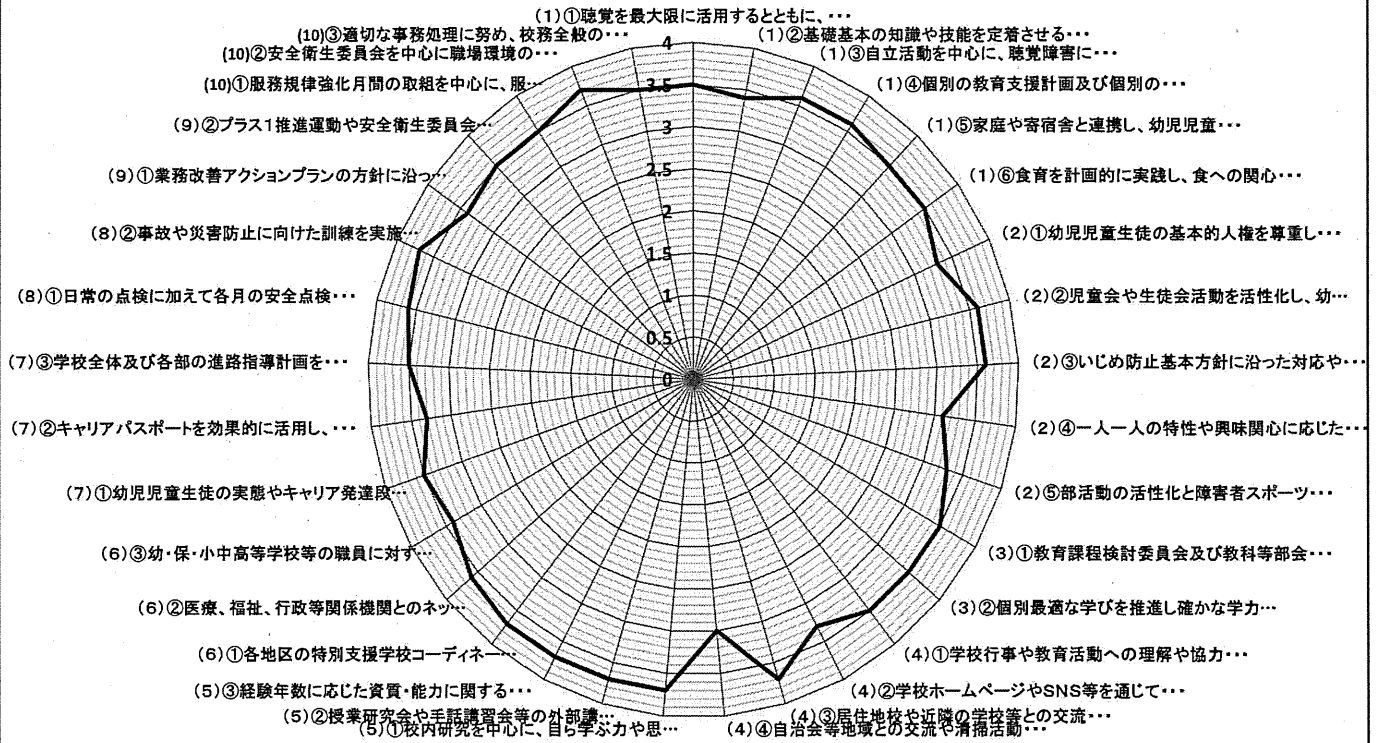
(分教室)

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

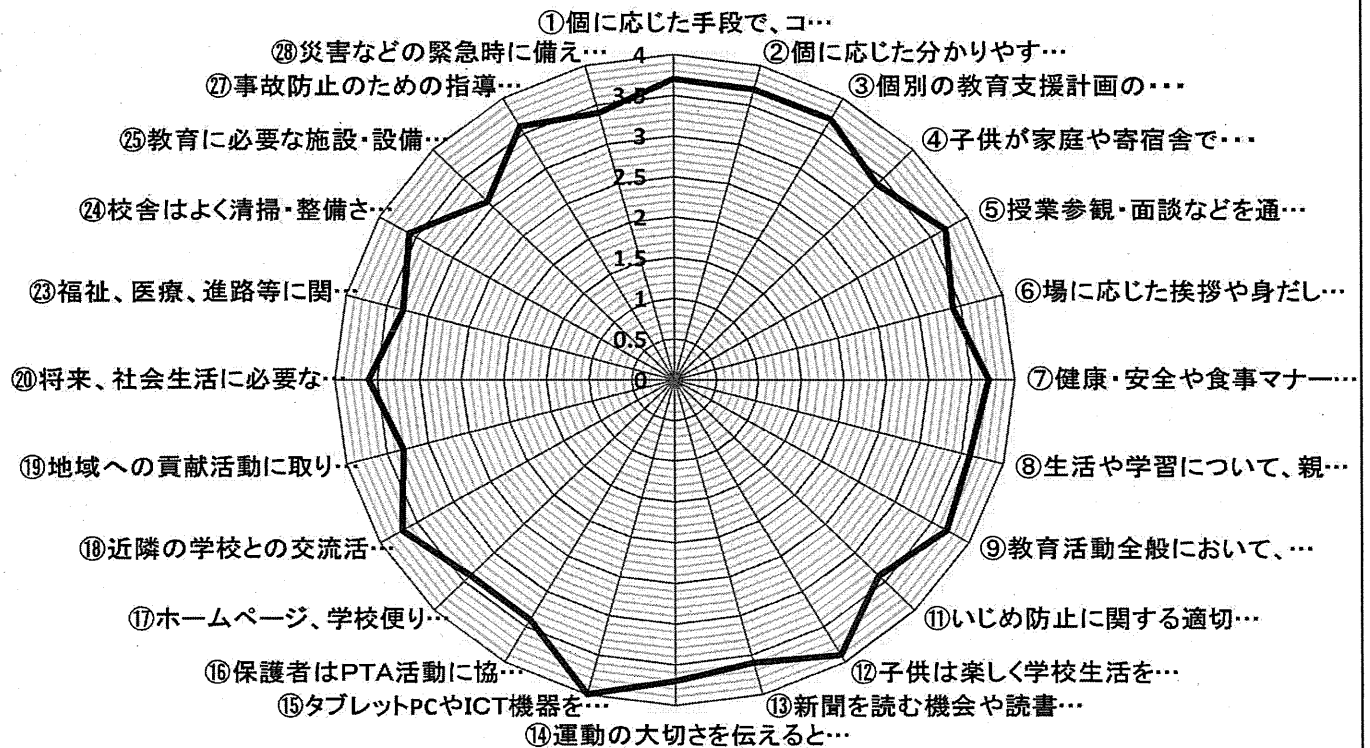
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価
		4	3	2	1	
学校について						
1	先生は、私に合ったコミュニケーション方法を使って、分かるように話したり、私の気持ちや考えを聞いたりしてくれる。	50%	50%			3.5
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	50%	50%			3.5
3	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	50%	50%			3.5
4	先生は、家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	50%	50%			3.5
5	先生は、挨拶や服装、身だしなみについてアドバイスをしてくれる。	50%	50%			3.5
6	先生は、私の良いところをほめてくれる。	50%	50%			3.5
7	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	50%	50%			3.5
8	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	50%	50%			3.5
9	先生は、舎生会活動で自分たちが考えたことを聞いてくれる。 (舎生のみ記入)	/	/	/	/	/
10	間違ったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	50%	50%			3.5
11	学校には、いじめがなく、楽しい雰囲気がある。	50%	50%			3.5
12	学校には、新聞や本がたくさん準備してある。	100%				4.0
13	先生は、部活動や運動に取り組むようアドバイスをしてくれる。	50%	50%			3.5
14	先生は、パソコンやタブレットPCを使って教えてくれる。	50%	50%			3.5
15	地域の学校との交流及び共同学習に取り組み、親睦を深めることができている。	100%				4.0
16	清掃活動など地域に貢献できる活動に、意欲的に取り組んでいる。	50%	50%			3.5
17	先生はいろいろなマナーやルールについて分かりやすく教えてくれる。	100%				4.0
18	先生は、将来の進路に向けて、今、頑張らないといけないことをアドバイスしてくれる。 (中・高等部生徒のみ記入)	50%	50%			3.5
19	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	50%	50%			3.5
20	校舎は、掃除が行き届き、いつも清潔である。	50%	50%			3.5
21	校内には、危険な場所がなく安全である。	100%				4.0
22	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。 (舎生のみ記入)	/	/	/	/	/
23	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	100%				4.0
<p>【自由記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具を増やしてほしい。 ・古いところを直してほしい。 <p>【成果と今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度幼稚部の園庭に遊具が増える予定ですが、小・中学生も楽しめる物を少しでも増やせるよう努力します。 ・古いところについては、危険がないように安全点検をしっかり行っていきます。 						

分教室職員



分教室保護者



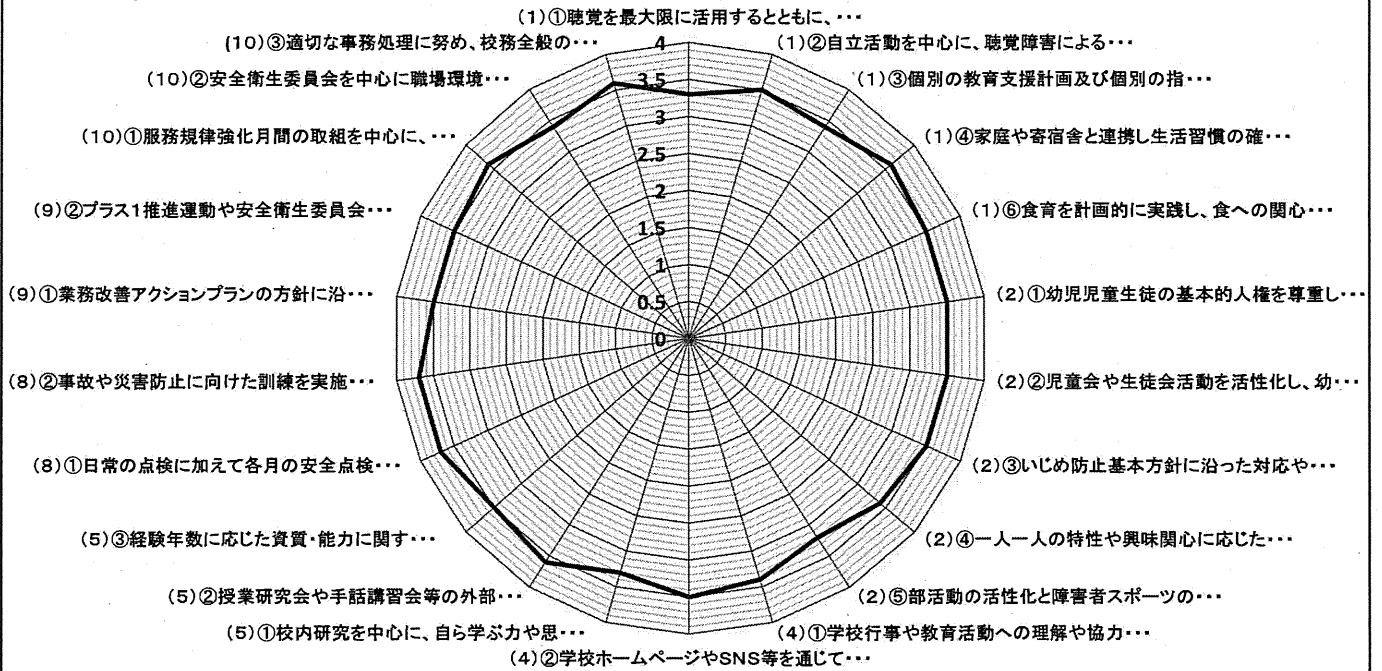
令和6年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(寄宿舍)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舍との連携を深め、幼稚部から高等部まで系統的な教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	(1) 基本的生活習慣の確立を図る。 ○日課の中で、自主的・計画的な生活態度を身に付けるよう、指導・支援を行う。 ○日々の食事・掃除・洗濯や避難訓練等を通して、食・健康・安全・衛生についての基礎的な知識を身に付けるよう指導・支援を行う。 ○買物等を通して、金銭感覚を養うよう指導・支援を行う。 (2) 集団生活を通して社会性の育成に努める。 ○職員・友人との関わりや、ろうあ協会・外部講師との交流を通して、コミュニケーション力や社会性を育てる。 ○自治活動において行事の計画や共同作業などを通して、協力し合うことの大切さを学び、責任感を培うよう指導・支援を行う。 (3) 学校及び保護者との連携を図る。 ○学校・保護者と情報を共有し、共通理解を図り、一貫した指導・支援を行う。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかというとは達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1) 確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚を最大限に活用するとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	27 73 0 0	○
②自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	55 45 0 0	○
③個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	36 64 0 0	○
④家庭や寄宿舍と連携し、幼児児童生徒の基本的生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	64 36 0 0	○
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	45 55 0 0	○
(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	45 55 0 0	○
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	45 55 0 0	○
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	55 45 0 0	○
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	36 64 0 0	○
⑤部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	18 82 0 0	○

到達度
十分達成◎
概ね達成○
課題あり△

(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページやSNS等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.3)	4	27		○
	3	73		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.7)	4	73	毎月、担当箇所の安全点検を行っている。	◎
	3	27		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4	73		◎
	3	27		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.5)	4	45		○
	3	55		
	2	0		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服従規律強化月間の取組を中心に、服従規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.6)	4	64		○
	3	36		
	2	0		
	1	0		

寄宿舎職員



事務室職員

